

## 4 郷土を開いた人々

わたしたちの玉川村が、今のようになるまで、どんな人たちの努力や苦勞があったのでしょうか。江戸時代ごろからの記録をもとに、調べてみましょう。

### (1) 用水路をつくって水を引く

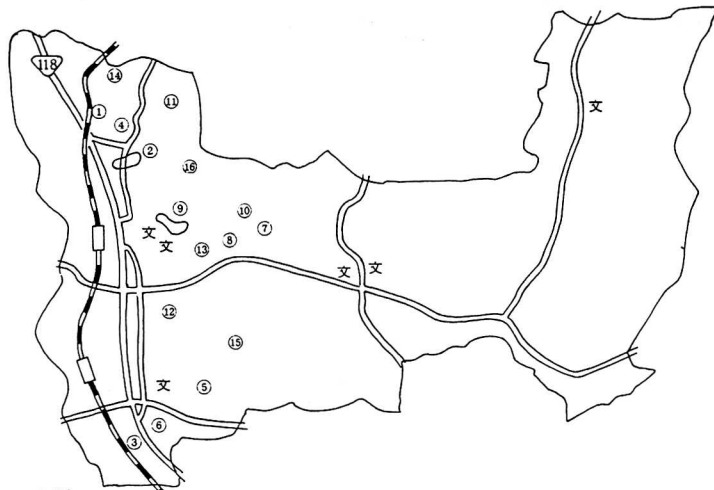
#### ① ため池をつくって水を引く

玉川村の東部は山が多く、森林におおわれていて、わき水や谷川の水を農業用水として利用することができました。ところが西部の平らな土地では、長い間、水不足で大変困っていました。そこで、江戸時代の終わりごろから次々とため池がつくられ、その水を農業用水として利用してきました。

玉川村にはどんなため池があるのか、それはいつつくられたのか、下の地図や年表で調べてみましょう。

#### ア ため池のある場所

※○の数字は、下の表の番号をあらわしています。



#### イ 玉川村につくられたため池

番号	ため池の名前	つくられた年	管理地区	番号	ため池の名前	つくられた年	管理地区
1	あら池	江戸時代末期	竜崎	9	中村池	明治19年	中
2	三ツ池	江戸時代末期	竜崎	10	二ツがま池	明治20年	小高
3	ぶどう池	明治初期	川辺	11	吉太郎池(きじゅうたろう)	明治20年	岩法寺
4	待池	明治初期	岩法寺	12	ひりゅう新池	明治27年	ひりゅう生
5	新池	明治初期	川辺	13	あいよし池	明治中期	小高
6	松井田池(前池)	明時初期	川辺	14	こおり池	明治中期	竜崎
7	かけがね池	明治5年	小高	15	大池	昭和2年	川辺
8	なしのくぼ池	明治10年	小高	16	新やしき池(かみじ池)	昭和10年	岩法寺

※( )でよばれることもあります。

(ため池台帳)